



# JPI催しのご案内

2017  
10

公益社団法人日本包装技術協会

## 【研究会の参加申し込み方法について】

JPIホームページより参加申し込みができます。  
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

### 開催要領

<b>会場</b>	公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
<b>日時</b>	平成29年10月26日(木)[第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00
<b>参加費</b>	JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)定員100名

### 第1部 第97回包装情報研究会

13:15~15:00

#### 【テーマ】2017年から見た今後の人にやさしいパッケージ

世界は Sustainable Packaging で進んでいる。その中においてパッケージの基本である機能性包装・視認性向上パッケージ・使いやすいパッケージ等について国内外の事例を挙げて説明し、今後の方向性を予測する。

- 機能性: 多くの機能が一つのパッケージの中で展開されパッケージの目的が達成されている。
- 視認性向上: パッケージの充填包装から物流・店頭・使用時において視認性が重要である。目視だけでなく、ネットショッピング対応や多くの製品情報提供のためにパッケージ形状、補助手段も重要となっている。
  - 誤認防止・ヒューマンエラー防止
  - 差別化・ブランド化
  - 直感的に分かる・表示を読まない・読みにくいことへの対応
  - visible & invisible及びスマホなどの情報提供手段の活用における視認性
- 使い勝手の良いパッケージ  
アクセシブルデザイン、ユニバーサルデザインなど共通の規則以外に、人にやさしい user-friendly、ネットショッピング対応デザインの変化、多言語対応法などについて現状及び2020年オリンピック対応などで今後求められる人にやさしいパッケージについて予測する。

<b>【講師】</b> 住本技術士事務所 所長 包装管理士	住本 充弘氏
<b>【コーディネーター】</b> (株)コーセー 商品デザイン部 設計二課 主任専門職	直井 正宏氏
エスビー食品(株) 開発生産グループ 商品部 開発総務ユニット 包装専士	高橋 惣治氏

### 第2部 第219回生活者包装研究会

15:15~17:00

#### 【テーマ】ASEANにおけるコンビニ中食の実状 2017

「成長神話」に明らかに陰りが見え始めている中、我が国のコンビニ業界は新たな市場を求め、東南アジアでの出店攻勢を強めていく。しかしながら、まっさらだった市場にコンビニが確実に浸透していく中、思わぬ落とし穴が出現する。人口構成、嗜好性、宗教、食習慣、経済、インフラ整備、参入障壁……。コンビニ中食も、コンビニの存在そのものが各国常態化しつつある中、ただ日本式を持ち込むだけでは難しくなっているのが現状である。変化の節目にあつて、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナムの5か国での「今」を現地レポートから探り、ASEANにおけるコンビニ中食の今後を占う。

<b>【講師】</b> 伊藤忠プラスチック株式会社 包材第二本部 営業サポート部長代行 包装専士	佐藤 久朗氏
<b>【コーディネーター】</b> 味の素(株) 食品研究所 商品開発センター 包装設計グループ 主席研究員 包装専士	田屋 昌亮氏
旭化成(株) 樹脂製品事業部 フォーム製品営業部 課長 包装専士	中村 充利氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

## 10月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、当会ホームページからのお申し込み、もしくは、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXにてお受け付け致します。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒 )	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	
	(氏名)	(所属役職)	第1部・第2部
	(e-mail)	@	

10月度の見学会はございません。

## 第55回全日本包装技術研究大会

【名古屋大会】～開催のご案内～

- 【主催】公益社団法人日本包装技術協会 【後援】経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・他関連官庁
- 【期日】平成29年11月16日(木)～17日(金)
- 【会場】名古屋国際会議場 【発表件数】68件(予定)
- 【発表内容】包装又は包装資材に関する研究 / 新技術・新システム・新素材の紹介 / 廃棄・リサイクルの容易性 / 包装の現場における改善・合理化の事例 / 省力・省資源・コスト低減の事例など
- 【部会】①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

聴講者募集用パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

## 平成29年度静岡県包装研究会

### 【開催要領】

- 日時:平成29年11月2日(木) 13:00～16:10
- 参加費:会員:無料 (一社)静岡県紙パルプ技術協会会員:無料 一般:3,240円(税込)
- 会場:静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第1研修室
- 定員:80名(定員になり次第締切となります)

### 【スケジュール(予定)】

- 13:00～14:30 テーマ:『セルロースナノファイバーの実用化に向けた現状と課題』  
講師:日本製紙(株) 研究開発本部 CNF研究所 所長 河崎 雅行 氏
- 14:40～16:10 テーマ:『自動車部品梱包の開発・改善事例の紹介』  
講師:マップス(株) 技術部 主務代理 渋江 典良 氏

申込専用パンフレットにて参加お申込み下さい

◆お申込み及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 静岡県包装研究会係 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

## 軟包装の知識について短期習得を目指す

### 第34回フレキシブルパッケージコース

- 【開催日】平成29年11月10日(金) 10:00～16:30 【会場】(公社)日本包装技術協会A会議室
- 【講師】下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏(包装管理士) 【定員】70名
- 【参加費】会員21,600円(消費税・テキスト代込み) / 一般33,480円(消費税・テキスト代込み)

### 受講のお勧め

フレキシブルパッケージ(軟包装材料)は、プラスチックフィルム、紙、金属箔などを原材料として製造される柔軟性のある包装材料である。これらは食品、医薬品などの内容物を直接包装するため高度な品質保持機能や安全・衛生性が求められる包装材料である。この講座は、フレキシブルパッケージの企画、開発、製造、などに携わる方々を対象とし、フレキシブルパッケージ技術の根幹となる包装設計を行うための基本的な知識を短期間で習得できるようにプログラム致しました。この機会に関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からご確認頂けます。

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

### 【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

### ◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F  
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970  
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>